

発達障がいのある方への 理解と支援を進めるために

地域に理解のわをを広げよう

区社協だより

ひらの

社会福祉法人 大阪市平野区社会福祉協議会
〒547-0043 大阪市平野区平野東2丁目1番30号
平野区在宅サービスセンター(にここセンター)
☎ 06-6795-2525
FAX 06-6795-2929
http://hirano.kusyakyou.or.jp/

◀ 2面
にここ教室

◀ 3面
ボランティア養成講座

◀ 4面
包括支援センター

平野区社協では、※ハートステッカー事業の取組みに協働するとともに、平野区役所からの委託を受け「発達障がい」に対する理解者を増やす取り組みに力を入れています。

「発達障がい」という見えない障がいは、本人や周りの人に気づかれることが少なく、気づかれることが少ないからこそ、知っていただくににくい障がいです。

そのことで誤解や偏見を生むこともあります。「発達障がい」は、平成16年12月に「発達障害者支援法」が制定され、次のとおり定義されています。

「発達障害」とは、自閉症、アスペルガー症候群、その他の広汎性発達障害、学習障害、注意欠陥多動性障害その他これに類する脳機能の障害であつてその症状が通常低年齢において発現するものとして政令で定めるものをいう。
(発達障害者支援法第2条第1項)

「発達障がい」を気づかないことは、「発達障がい」のある子どもが、「生活のしづらさ」といった課題を抱えたまま大人へと成長することです。そして、大人へと成長した時に課題が、さらに大きなストレスとなります。しかし「発達障がい」のある子どもにとって、もっとも身近な社会である家庭において、「発達障がい」に気づくことで、生活のしづらさといった課題を、少し小さくできます。大切なことは、どのようなことができて何が苦手なのか。また、得意分野やその子どもにしかない魅力はどこなのか、といったところを目を向けることです。

「発達障がい」のある子どもを見守り、時には手をさしのべること※ハートステッカー事業とは、和っしょい！ひらの(平野区地域福祉アクションプラン)の取り組みです。見た目にはわかりにくい障がいを正しく知っていただくために出前講座を行い、ガイドブックとステッカーを配布しています。誰もが安心して暮らせるまち「知らない」ことからくる差別や偏見をなくすことを目的として取り組んでいます。



のできる地域社会を築くために、講演会や支援者向け講座を開催し、ひとりでも多くの理解者と支援者を増やすことに取り組んでいます。

啓発・研修を実施するとともに連絡協議会の開催を通じて関係機関の支援ネットワーク構築を目指してきました。開設当初は幼児期・学齢期の相談が大半を占めてい

発達障がい者支援センターにおける相談の現状

大阪市発達障がい者支援センター 所長 井上 芳子さん

当センターは平成18年1月に開設されました。発達障がい者支援法で定められた4つのサービス
①相談支援 ②機関支援 ③就労支援 ④啓発・研修を実施するとともに連絡協議会の開催を通じて関係機関の支援ネットワーク構築を目指してきました。開設当初は幼児期・学齢期の相談が大半を占めてい

ましたが、平成20年度を境に19歳以上の方が漸増し平成24年度は相談実人数の約60%が成人期で、その多くが知的障がいのない方でした。青年期になって初めて発達障がいの診断を受け、な

りた、といったものから、障がいとわかって混乱し家族に怒りをぶつける方等、その反応はさまざまですが、

講演会

発達障がいてなあに?

定員 300名 申込不要

『発達障がい』という言葉をご存じですか? 発達凸凹(でこぼこ)とも表現するそうです。

講師 エルムおおさか 所長 井上芳子さん
NPO法人クララ 弦川紀子さん
アンバランス 元村祐子さん

日時 2月27日(木) 19:00~20:30

ところ クレオ大阪南

対象 平野区在住・在勤の方

問合せ先 平野区社会福祉協議会 にここセンター ☎6795-2525

無料

発達障がいがある方への支援講座 (3回コース)

とき	内容	講師
1 3/15	基礎的な知識と平野区での取組み	大阪市発達障がい者支援センター エルムおおさか 所長 井上芳子さん 平野区役所 保健福祉センター
2 3/29	学校教育の中でできること	京都市発達障害者支援センター かがやき 副センター長 澤月子さん
3 4/19	かかわりの実践と地域への発信	NPO法人 チャイルズ 代表 是澤 ゆかりさん

全3回とも土曜日 10:00~12:00

ところ 平野区社会福祉協議会 にここセンター

定員 50名(先着順申込)

締切 3月8日(土) 但し、定員になり次第受付終了になります。

要申込 無料

やってみ~!

やってみよう!

やったよ!

「和っしょい!縁日」ふらす

日時 3月9日(日) 11:00~16:00 荒天中止

会場 平野区民ホール(平野南1-2-7) 平野野堂公園(区民ホール横)

内容 体験・趣味・遊び・食べる・学ぶコーナー

「認知症サポーター養成講座」 フォローアップ研修

認知症になっても安心して暮らしていくことのできる地域を、みんなで作っていきませんか。

受講資格 「認知症サポーター養成講座」を受講した方
内容 オレンジリング(プレスレット)をお持ちの方
日時 映画鑑賞『折り梅』、交流会など
日時 2月20日(木) 13:30~16:00
場所 平野区社会福祉協議会 にこにこセンター
申込方法 電話で申込み 定員 70名(先着順)
受講料 無料

平野区キャラバンメイト連絡会 事務局
 平野区社会福祉協議会
 にこにこセンター
 TEL 6795-2525 FAX 6795-2929



平野区は大阪市内で最も人口の多い区です。子どもや子育て中の親も数多く住んでいます。今、子どもをとりまく環境を振り返るといじめや不登校、児童虐待など深刻な社会問題があります。「おとなの学校」は和つしよい！ひらの(平野区地域福祉アクションプラン)と未来わがまちビジョン)発の取り組みです。未来を担う大切な子どもたちの成長や子育て中

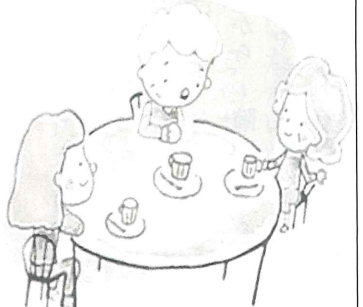


の親を家庭、学校、地域社会で支え合うために、「大人がもういちどみんなで子育てについて考え、学び、安心して子育てができる親づくり、地域づくりをめざしています。

今、大阪市では新たな地域コミュニティ支援事業の柱として、各地域で地域活動協議会を形成、運営を支援しています。平成25年3月に設立した平野地域活動協議会では、「おとなの学校」の主旨に賛同し、設立記念事業に位置付け、このたび和つしよい！ひらのと協働で開催することになりました。

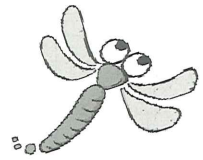
また、平野地域に隣接する社会福祉法人大念仏寺社会事業団は乳児院や保育園をはじめ、児童福祉・地域福祉の分野で大きな役割を果たしています。今回「おとなの学校」の開催に向けて、3者で企画検討を重ねてきました。

平成26年2月15日(土) 13時30分~17時。社会福祉法人大念仏寺社会事業団(平野区平野上町1の7の3) 主な内容として、講演「社会的養護の現状、里親について(講師 畠中義久氏)」、分科会「NPO法人Japan地域子育て支援担当 田淵彩氏」「NPO法人オリーブひらの代表 森本克子氏」による活動報告、子育て支援や障がいなどについてお話しされます。



平野地域活動協議会と和つしよい！ひらのの協働 「おとなの学校」を開催 社会福祉法人大念仏寺社会事業団にて

介護で疲れていませんか？



平野区介護家族の会

だんご 談語の会

日時 毎月第1木曜日 13:30~15:00
場所 にこにこセンター 3階会議室
問い合わせ 平野区社会福祉協議会(にこにこセンター)
電話 6795-2525
担当 伊藤

介護についての不安や悩みなどを安心して話し合える場として「談語の会」があります。体験者同士の交流は、ストレスの発散と介護知識を広め情報収集に役立ちます。お気軽にお問い合わせください。

健康長寿へ準備OK!?

閉じこもりなど予防事業

にこにこ教室



実施場所	実施日	時間	定員
平野公園老人憩の家	第2月曜日	14:00~	20人
平野西会館	第1水曜日	10:00~	20人
新平野西コミュニティ会館	第3月曜日	13:30~	20人
喜連西コミュニティ会館	第1金曜日	14:00~	20人
喜連北老人憩の家	第2水曜日	13:30~	20人
長吉東部老人憩の家	第3火曜日	14:00~	20人
長吉六反北集会所	第4木曜日	14:00~	20人
長吉六反会館老人憩の家	第4水曜日	14:00~	20人
瓜破西老人憩の家	第1木曜日	14:00~	20人
瓜破北老人憩の家	第4月曜日	13:30~	20人
加美老人憩の家	第2金曜日	14:00~	20人
加美北老人憩の家	第3金曜日	14:00~	20人
加美東老人憩の家	第1火曜日	14:00~	20人

高齢になっても自分らしく、活動的で生きがいのある生活や人生を送るには、元気なときからの準備(取り組み)がとても大切です。平野区社協では、そうした生活を実現していただくため、地域の方のご協力を得ながら、生活機能の低下を防ぐ介護予防事業を実施しています。

- 対象：65歳以上で、介護保険の要支援・要介護の認定を受けていない方
- 実施場所：各地区老人憩の家など区内13か所
- 参加期間：月1回(約90分)
- 内容：地域の身近な場所に集い、体操やレクリエーションで体を動かしたり、栄養・口腔・認知症などについて学びます。地域の身近な人との交流の機会を持つことで、こころとからだの元気を高めます。

●問い合わせ：介護予防担当(松本・真砂) まさご
 TEL 6795-2525

平野区 ボランティアビューロー

問い合わせ TEL 6795-2200 FAX 6795-2929

こころのほかほか講座 精神保健福祉ボランティア養成講座

① 2/12 (水) 14:00~16:00	・「こころの病を持つ方の理解と接し方 ～統合失調症を中心に～」 講師 精神科医師 眞城拓志氏 ・「ユニコーン」活動紹介
② 2/17 (月)～2/28 (金) のうち1回 10:00～12:00または13:00～15:00	《施設見学・実習》
③ 3/5 (水) 14:00～16:00	・当事者の話を聴いてみよう ・ボランティア活動について ・平野区保健福祉センターとは？

会場 ①③にここセンター ②区内施設
受講料 無料
定員 50名 (先着順)
主催 精神保健福祉ボランティアグループ「ユニコーン」
 平野区役所 保健福祉センター
 平野区社会福祉協議会
 平野区ボランティアビューロー
後援 NPO法人オリーブひらの
申込方法 電話またはFAXにて

「こころの病」はなかなか他の人からは理解されにくいこと、本人も周囲の人から生活のしづらさを感じていることが多いようです。まずは、こころの病について知ることから始めませんか？



「知る」ことで日常困っている人に手をさしのべたり声をかけるきっかけ作りになれば、「こころのほかほか講座」を開催します。講座の内容は精神科医師より「こころの病を持つ方の理解と接し方」を学び、施設見学・実習を行います。

また、受講後に希望者を対象に精神保健福祉ボランティアグループ「ユニコーン」と一緒にふれあい交流活動に参加してボランティア体験ができます。誰もが住みやすいまちなるよう一人でも多くの理解者が増えればと考えています。

「音訳」活動ってなあに？
 おんやく
 音訳は何らかの障がいによって「視覚」から情報を得ることが困難な方々のために文字などを「音声」に換えて提供する活動です。
 朗読が「自己表現の手段」であり主として文学を感情豊かに読むことに対して、音訳は「音訳者の主観を入れることなく」「書いてあることをできるだけ忠実に音声化する」ところが原則です。
 文章はもちろん、図表・写真なども正しく読み取ります。
 音訳ボランティア活動に興味のある方はぜひ講習会にご参加ください。

音訳ボランティア養成講座

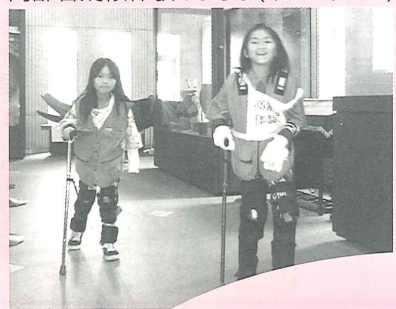
① 2/27 (木)	音訳ボランティアとは？ 発音・発声・ボイストレーニング
② 3/ 6 (木)	読んでみよう 1 内容を正しく伝えるために(アクセント、滑舌など)
③ 3/13 (木)	読んでみよう 2 文字を声にして伝えること(聞いてわかる読み方)
④ 3/20 (木)	読んでみよう 3 実践編(広報ひらの、天声人語などを使って)
⑤ 3/27 (木)	やってみよう! パソコンを使って録音体験

※一時保育はありません。
全5回とも 会場 にここセンター 定員 平野区在住の方 20名 (先着順)
 13:30~15:30 受講料 200円(資料代・保険代として) 締切 2月20日(木)
 主催 音訳ボランティアグループ「わたの実」 申込方法 電話またはFAXにて
 平野区ボランティアビューロー

受講記念の缶バッジをもらってにっこり!



高齢者疑似体験のようす(イベントにて)



障がい者の声をお届けします



フレンド作業所のみなさんによるミュージカルを披露しました



思いやりを伝える

区内にひろがる福祉教育

平野区社協では区内の小・中学校のみならず高校や大学へ、障がい者による講演や、認知症に関する理解や支援体制を学ぶ「認知症サポーター養成講座」高齢者疑似体験セットを用いた福祉体験など福祉教育実践を行なうための支援を提供しています。
 子どものころから高齢者や障がい者との交流体験を行なうことでさまざまな人を自然に受け入れ、福祉への関心を持ってもらうよう基盤づくりの役割を担っています。
 そのため、学校の様子を知っている教職員の方と「生徒の心に伝わる」内容を協力・検討してつくりあげることが必要です。
 そのような積み重ねが福祉コミュニケーションを構築していくことにつながることを考えています。
 先日、「障がい者の理解について」をテーマとした福祉教育をN中学校で開催しました。
 区内にある「フレンド作業所」の方々より生徒の皆さんへ、「障がい者のことを家族や兄弟と違って見てくれたら困っていたら声掛けよう・手伝おうと思えるはず。だから、みんな家族やと思っ見てほしい」と話されました。
 生徒たちのやさしい心が支援を求められている人々の心に届き、誰もが暮らしやすい福祉のまちになることを願っています。

あなたによりそう 手と手がつながる 平野区地域包括支援センター

問い合わせ TEL 6795-1666

ご案内

認知症を知ろう!

～わかりあおう、そして、つながりあおう～

無料

認知症になっても住み慣れた地域で住み続けるために、わたしたちは何ができるでしょうか。認知症について理解し、わたしたちができることを一緒に考えましょう。

第1部 基調講演

「認知症を理解し、支えること」

くぼりクリニック院長 久堀 保先生

第2部 シンポジウム

「みんなで考えよう

—認知症の本人と家族の声を聴いて—

座長 むいメンタルクリニック 撫井 弘二先生



日時:平成26年3月8日(土) 14:00~16:00(開場 13:30)
会場:平野区民センター(長吉出戸5-3-58)
定員:500名
主催:平野区医師会、平野区るんるんネット連絡会

ご報告

家族介護支援事業

11月12日、平野区民ホールにて、家族介護支援事業「楽しく笑ってリフレッシュ」を開催しました。当日は146名の方にご参加いただきました。
広崎真弓先生(関西大学助教)による講義では、「笑いヨガ」を体験していただきました。歌手の香月麻里氏と桜木田氏による講演もあり、楽しくリラックスした時間を過ごすことができました。



栄養の大切さをエプロンシアターで学びました

平野地域活動協議会、平野区地域包括支援センター、平野区社会福祉協議会が協働し平成22年2月から2ヶ月に1回開催しています。「体操を通じた仲間づくり」を意識し、若い世代にはシェイプアップ、高齢の世代には介護予防、障がいのある方にはリハビリ運動として活用



子ども大人も一緒に本物のたいこの音を楽しみました

今年度は、「認知症サポーター養成講座」「リアフリーってなあに?」「心と体のマッサージ」「和太鼓とふれあおう」「正月しめかざりづくり」などのテーマで開催しました。今後も、地域の方々と話し合いながら、地域が求めている企画を提案し、地域住民の方々にたくさんご参加いただけるようにしたいと考えています。

平野わいわい塾

平野わいわい塾は、あらゆる年代や性別の地域住民が集う世代間交流の場として始まり今年で6年目を迎えました。

していただいています。また、この場を通じて高齢・障がいや認知症などについての知識を深めていただき、地域において支援を必要とされている方のニーズを把握し、解決へとつなげることを目指して

います。後々には、地域課題の発見や活動者の発掘、新たな活動の実施などへもつなげていくことを期待してまいります。

慈善バザー

ご家庭でご不要な品物(新品)の提供をお願いします。但し、飲食物はご遠慮下さい。収益金(全額)で、平野区社会福祉協議会(にこにこセンター)に車椅子を贈呈します。

車椅子寄贈実績31台 3月23日(日)午前11時より新聞屋さん博物館前にて(中央本通り)全興寺隣 平野本町4-12-3

(株)小林新聞舗 流町1-4-1(地下鉄平野駅前) TEL6799-0363(松沼)

- 善意銀行への預託
《金銭預託》
大阪東部ヤクルト販売(株)
区社協(イベント参加売上金)、区社協ボランティア・ビューロー(イベント参加売上金・匿名(2件))
《物品預託》
大阪市朝日会—車いす1台
《金銭払出》
平野区成人の日記念のつどい実行委員会
《物品払出》4~12月
車いす—平野西社協・新平野西社協・瓜破社協・加美社協・区社協各車いす貸出事業、区社協デイスーツ事業
(順不同、敬称略)

平成25年10月から12月までの間に、次の方々より、平野区社協善意銀行への預託をいただきました。
皆様のお気持ちに感謝いたしますとともに、区内の福祉充実のために有効に活用させていただきます。
善意銀行への預託
《金銭預託》
大阪東部ヤクルト販売(株)、区社協(イベント参加売上金)、区社協ボランティア・ビューロー(イベント参加売上金・匿名(2件))
《物品預託》
大阪市朝日会—車いす1台
善意銀行への払出
平野区成人の日記念のつどい実行委員会
《物品払出》4~12月
車いす—平野西社協・新平野西社協・瓜破社協・加美社協・区社協各車いす貸出事業、区社協デイスーツ事業
(順不同、敬称略)

善意銀行へのご寄付
ありがとうございます。

賛助会員を募集中!

平野区社会福祉協議会は、誰もが「住み慣れた地域で、安心して暮らせる福祉のまちづくり」を大きな目的として、福祉事業を推進しています。

その活動は、各種補助金や共同募金配分金の他、寄付金や会費によって成り立っています。より充実した活動を展開できるよう、活動にご賛同いただき、賛助会員としてご協力をお願いいたします!!

Table with 2 columns: Category (Individual/Family/Group), Amount (1 person/group), Fee (1,000/10,000 Yen). Note: No limit on number of entries.

直接窓口へお越しいただくか、郵便局の下記口座へお振込みください。
【加入者名】 社会福祉法人 大阪市平野区社会福祉協議会
【口座番号】 00970-8-139180

善意銀行にご協力をお願いします!

平野区社会福祉協議会では、皆様からの善意のご寄付をお預かり(預託)し、区内の各種社会福祉活動に有効に活用(払い出し)していくため、善意銀行を運営しています。

善意銀行へのご協力をお願いいたします!

- たとえば
○冠婚葬祭の簡素化を図り、節約した経費を
○会社、工場、商店、団体などの記念行事に伴う収益を
○内祝いや香典返しなどを省略して
○自家工場の製品や商店の整理品(中古衣類を除く)などを
○福祉に役立てたい金銭をお寄せください!

・直接窓口にお越しいただくか、ご連絡ください。

※10万円以上の預託者に対し、感謝状を贈呈します。

※善意銀行への預託は、税法上の寄付金控除の対象となります。

社会福祉法人 大阪市平野区社会福祉協議会

(TEL: 6795-2525 FAX: 6795-2929)